



1 【 組織をまとめる言動や働き掛け 】

組織で仕事をするという意識を全員がもってほしい。

自分のすべき仕事をきちんと遂行することで信頼を得て、教務主任としての立場から、指導助言をすることで全体をまとめている。

お互いに言いづらいことも言い合える関係を築きたい。

普段から、先生方とコミュニケーションを多くすることで、お互いに言いづらいことも言い合える人間関係づくりをし、組織で目標を達成していく力を高めている。

組織としての共通理解を図りたい。自分の仕事に責任をもってほしい。

自分勝手な考え方や、強引に自分の意見を通そうとする先生に対して、学校全体や学年、チームとしてどうあるべきかということ投げ掛けて、まとめている。

組織的に動くことの大切さを理解してもらい、言いづらいことがあっても立場や役割として言うべき時ははっきりとやっている。

2 【 教育課程の評価や改善に向けた取組 】

年間の見直しをもたせ、効率よく会議や行事を進めたい。

管理職の指導助言を基に、昨年度の評価改善を生かし、「これ1冊あれば全て分かる」という、「教育課程編成基礎資料」を中心となって作成し、その活用を図っている。

子どもたちが落ち着いて授業に取り組めるようにしたい。

子どもたちが落ち着いて授業に取り組めるように、各学年の実施時期の重なりやバランス、内容について評価し、改善を図っている。

学校行事の精選を工夫したい。

学校行事を通して「生きる力」を育むために、行事の全面的なカットではなく、内容の整理・統合を行い、時間的なスリム化を図る工夫をしている。

教育課程や子どもたちに関わる活動をその都度評価し、先生方の意見や考えを取りまとめバランス良く改善し、次に生かしている。

教頭

教務主任

学年主任

研修主任



3 [組織全体で評価や改善に取り組むための工夫]

改善につながる情報を広く収集し、先生方の考えや思いを生かしたい。

より良い教育課程の編成に向けて、様々な視点から情報を得るために、学校評価とは別に教育課程に関する調査を実施している。

学年主任を中心に各学年で評価改善に取り組んでもらいたい。

子どもたちが関わる行事については、学年主任に学年による振り返りを依頼し、学年会で検討し改善案まで作成してもらったものを教務が集約している。

担当者に評価改善の力をつけてほしい。

行事が終了したらすぐに反省用紙を配布し、担当が取りまとめて改善案まで作成し、教務が助言しながら集約している。

学校を更に良くしていくために、組織的に評価や改善ができるような方法を工夫している。

4 [分掌主任に対しての働き掛けや支援]

分掌主任に組織的な企画立案の力を付けてもらいたい。

分掌主任の考えを生かし、組織を生かせるような企画立案や評価改善ができるように指導助言している。

分掌主任を指導助言しながら支えたい。

積極的に企画立案にかかわることで、分掌主任の思いをよく理解し、提案や実践の際に支援できるようにしている。

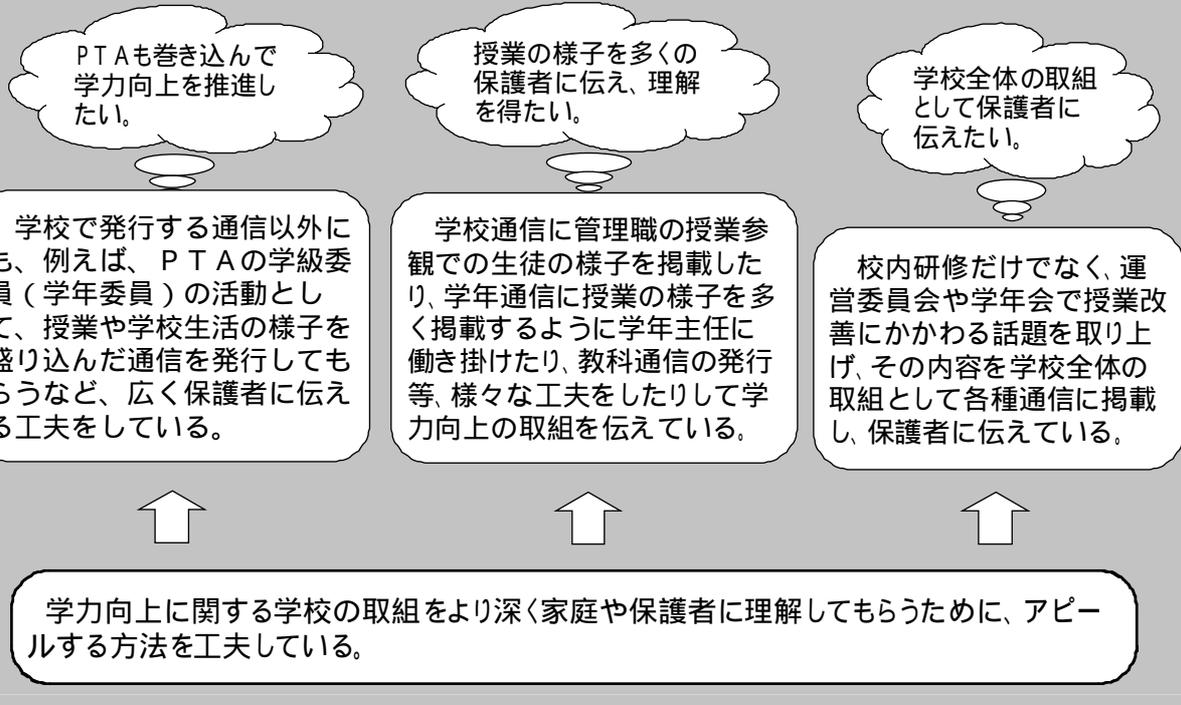
管理職と分掌主任との共通理解を図りたい。

管理職と分掌主任の思いや考えが共通理解できるように、適切に両者の調整を図りながら企画立案をしている。

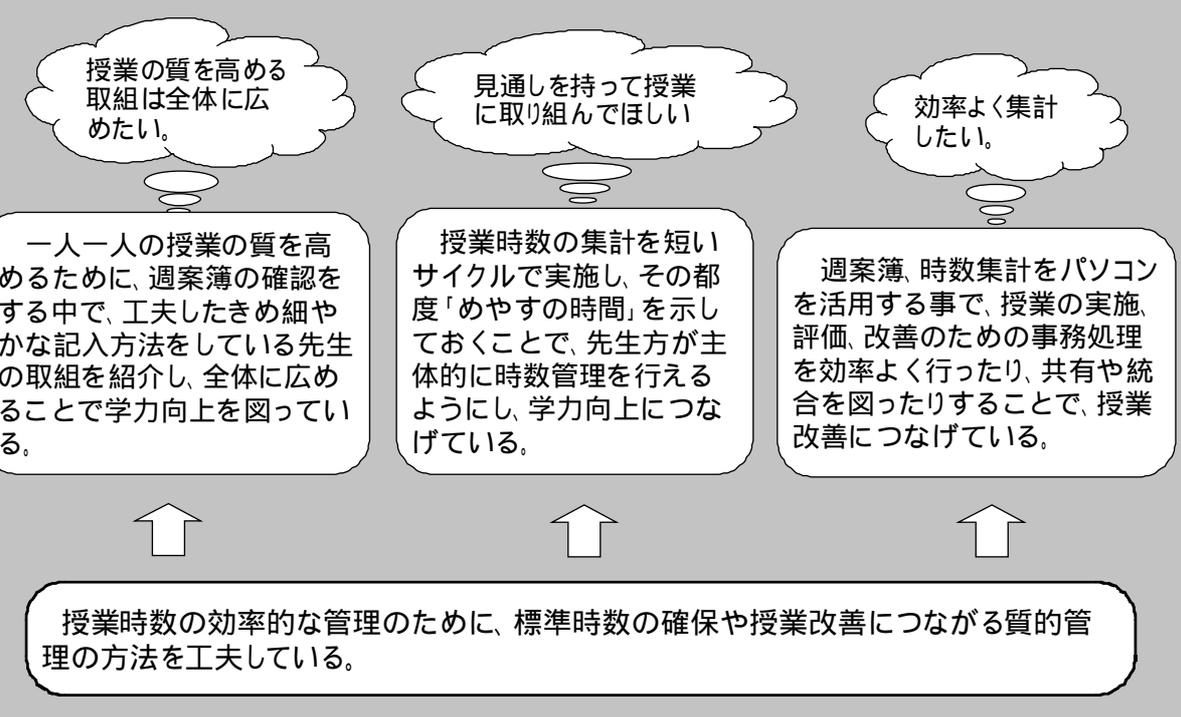
各分掌主任の企画立案、評価改善に積極的に教務主任がかかわり、指導助言することで、見通しをもって組織的に取り組めるように支援している。



5 【 学力向上の取組を保護者にアピールしていく工夫 】



6 【 学力向上に向けた工夫やシステム作り 】



教頭
教務主任
学年主任
研修主任